

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第31週 (7月28日～8月3日)



新型コロナウイルス感染症が増加しました

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は37名と、先週の24名から増加しました。

20歳以上の各年代からの報告があり、成人の中で感染が拡大していることがわかります。

豊肥保健所管内では定点あたり2.60人から4.00人に、大分県全体でも定点あたり4.19人から6.98人と、先週から増加しています。

予防や感染を広げないためには、手洗い、うがい、換気が重要です。エアコンを使用する際は、定期的に換気を行い、閉め切った状態が長く続かないようご注意ください。また、飛沫感染を防ぐために、咳が出るときはマスクを着用しましょう。マスクがない場合は、口や鼻をティッシュ・ハンカチや上着の内側や袖で覆う等の咳エチケットが重要です。

ヘルパンギーナが増加しました

今週は18人となり、先週の8人から倍増しました。1～6歳の幼児からの報告が多くなっています。豊肥保健所管内でも、定点あたり1.33人から2.33人と増加していますが、大分県全体では、定点あたり2.06人から1.44人と減少しています。

ヘルパンギーナは乳幼児に多くみられ、例年6～8月に流行します。発熱とともに、のどの奥に水疱が現れます。強いのどの痛みがあり、食事や水分摂取が困難になることもあります。ゼリーやアイスクリームなど冷たくてやわらかいもの、おかゆやスープなど刺激の少ないものを少しずつこまめに与えましょう。この疾患は、咳をした時のしぶきによる飛沫感染や、便に排泄されたウイルスが口に入って感染する経口感染で広がっていきます。しっかりと手洗いやうがいを行い、咳エチケットに気をつけましょう。特に、発症後2～4週間ごろまで便へウイルスが排出されるため、発症した子どものおむつを交換した後や排便後は、流水と石けんでしっかり手洗いを行いましょう。



(第31週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳							1	1				1	13						
4～6歳								1			1		5						
7～9歳																			
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上				37				2											
今週				37			1	4			1	1	18						
70歳以上(再掲)				14															
先週				24				4		1			8						

